



CSN だより

第5号
平成21年9月7日発行

特定非営利活動法人
キャリアサポートネットワーク
千葉県船橋市緑台 1-3-1-304
TEL : 047-440-1790
http://www.cs-network.jp

NPO 法人キャリアサポートネットワーク設立5周年記念イベント
「学校とNPOの連携実践シンポジウム～子どもたちはどう変わったか～」
 11月7日(土)10:00～ 船橋市民文化創造館きららホール

この度、私ども NPO キャリアサポートネットワークは、キャリア支援における学校と NPO の連携をテーマとしたシンポジウムを開催します。就職難・格差など社会が困窮するなかで、学校の進路指導の現場もまた戸惑いを感じているのではないのでしょうか。こうした状況を変えていくには、学校とともに、NPO や市民、企業など外部が手を取り合って問題を解決することが必要になってきます。今回のシンポジウムは、NPO を受け入れた学校との連携実績を持つ4つの NPO 団体から率直な声を聞くことで、今後の「学校と NPO との連携」の発展につなげていこうというものです。お申し込み、お問い合わせは、キャリアサポートネットワーク事務局 担当 砥板 (FAX 020-4662-2067 またはメール info@cs-network.jp) まで

平成21年度千葉県NPOパワーアップ補助金対象事業
 ちばNPO月間協賛事業

NPO 法人キャリアサポートネットワーク設立5周年記念イベント

学校とNPOの連携実践シンポジウム ～子どもたちはどう変わったか～

“学校との連携”活動を行っている5つのNPO団体が集う！
 それぞれのNPO団体が実践してきたケースから、子どもたちがどう変わったかを紹介し、
 子どもたちの未来に役立つ意見交換、議論を、参加者みんなで深めよう！

■日 時 2009年11月7日(土) 10:00～16:30
 ■会 場 船橋市民文化創造館きららホール(船橋市本町1-3-1FACEビル6F)
 ●交通 JR総武線・東武線 船橋駅南口・京成船橋駅
 ■参加費 無料
 ■プログラム
 10:00～12:00 第I部 活動実践事例紹介
 13:00～15:00 第II部 NPO×教職員×生徒によるパネルディスカッション
 ～子どもたちはどう変わったか～
 15:00～16:30 第III部 参加者と各団体交流の場

参加団体

- NPO法人企業教育研究会 <http://ace-npo.org/>
 企業、アーティスト、NPO等との協力により職業実践・修習研修を行っています。特に環境保護、ボランティア活動、キャリア教育を中心とした新しい職業実践・修習開発に力を入れています。
- NPO法人キャリアデザイン研究所 <http://npo-odi.com/>
 希望に輝く目をした若者が働き、社会に活力を醸成させることを願い、企業家と連携した就職者・保護カウンセラーが若者の自己理解、職業理解、目標発見、能力開発を支援。
- NPO法人キャリアサポートネットワーク
 “千葉県による千葉のためのキャリア支援”をめざし、高校生、次学生、中学生を中心に進路選択、職業選択、キャリア支援プログラムを提供。
- NPO法人キーパーソン21 <http://keyperson21.org/>
 オリジナルのキャリア教育プログラム「専修生プログラム」を通して、全国の小中高生に将来を考えるきっかけ作りを提供している。
- NPO法人カタリバ <http://www.katariba.net/>
 “学校に社会を連動” 高校生と先輩世代との対話型キャリア学習プログラム「カケリ場」を通じて子どもたちが「大人になる」ことへの夢や希望を持つ。

主催 特定非営利活動法人キャリアサポートネットワーク
 千葉県船橋市緑台1-3-1-304
www.cs-network.jp

当イベントについての、お問い合わせは、
 キャリアサポートネットワーク事務局
 メール info@cs-network.jp または FAX 020-4662-2067 まで

敬愛大学 キャリア基礎開発講座Ⅰレポート

敬愛大学において、4月から7月までの前期授業として「キャリア基礎開発講座Ⅰ」を行いました。敬愛大学キャリアセンターが主幹するキャリア関連講座を構成するひとつで、主に2学年を対象とした、就職活動、社会へ飛び立つ同大学生の学生生活への指針ともなる大事な講座です。また、前期13回という長丁場の中で単に学問的な学びだけでなく、グループ・ワークを中心にした実践的な授業を目指しています。

【キャリア基礎開発講座Ⅰ シラバス】

第1回	オリエンテーション	授業の目的とねらいの理解
第2回	社会人基礎力とは nEQアセスメント受検	「学就Book」配布 社会人基礎力診断1回目
第3回	これまでの自分のふりかえり	「これまでの夢ノート」記入
第4回	nEQアセスメント結果返却・解説 自己紹介文作成①	行動特性の理解と自己表現 過去と現在の自己紹介
第5回	グループ内自己紹介	グループメンバーの相互理解
第6回	グループワーク「新商品を開発せよ！」①	第1回新商品企画会議
第7回	グループワーク「新商品を開発せよ！」②	第1回新商品プレゼンテーション
第8回	プレゼンテーション・スキル	プレゼンテーション・スキルの理解
第9回	グループワーク「新商品を開発せよ！」③	第2回新商品企画会議
第10回	グループワーク「新商品を開発せよ！」④	第2回新商品プレゼンテーション
第11回	コミュニケーション理論①	D i S C理論の理解
第12回	コミュニケーション理論②	D i S C理論の応用、自己紹介文②作成
第13回	自分の成長を知る これからの学生生活「夢ノート」	社会人基礎力診断2回目 夢ノート（学生生活プラン）作成、自己紹介文③作成



この授業の核となるのは、グループワーク「新商品を開発せよ！」です。この授業で初めて知り合った仲間と、企画、プレゼンを通じて、チームワーク、役割分担、主体性や参画意識を実体験しながら、組織の中で自分の特徴、個性を理解していきます。

授業の特徴は、いわゆる座学をできる限り廃し、グループ・ワークなど協同で作業中心に取り組んでいくこと。単なる理論や知識ではなく、実践可能な、日常の生活で活用できるものを身につけて欲しいとのねらいがあります。また、社会で通用するという点から、ほとんどの作業が、グループ、つまり組織の中で、人の集まりの中で取り組むことにより、対人コミュニケーションやそれぞれの特徴に応じた役割分担を担うこと、それを通じてあらためて自分の個性や得意なことを認識する目的があります。

まず社会で求められる能力として「社会人基礎力」

を理解し、その上で「社会人基礎力診断」、労務行政研究所「nEQアセスメント」を使って、実際の自分の傾向を測ります。今まで漠然と感じていた自分の性格や個性を数値的に把握することで、認識を改めたり、新しい自分の魅力や潜在能力に気づく学生もいました。在能力に気づく学生もいました。

「新商品の開発」を課題に、6名1グループ単位で、アイデア、まとめ、現実性、発表・プレゼンの完成度などを競いました。模造紙にまとめた成果は、経営役員会でのプレゼンという設定での発表で披露されます。プレゼンは2回の機会があり、1回目で充分検討できなかった点や、プレゼンテーションで指摘された不足点などを再度検討し直すことで、仕事に取り組むときの失敗や挫折も模擬体験します。1回目に比べ、自信を持ち、やり遂げた感に満ちた各チームが2回目、次々に発表していきます。

ワークの進捗に応じ、プレゼンテーション・スキルの基礎理解や、DISC理論による対人コミュニケーションの科学的理解により、組織や社会でのスキルアップも授業の目的です。

最終的に全体を通じて、社会人基礎力を理解し、自分の特性を知り、グループワークを通じて伸ばすことができたかを、学生自身と同じグループのメンバー相互で確認していきます。そこから理解した自分の特性、長所をより伸ばしていくために、学生生活の中で何を目的とし、行動計画を立てるかを日経HR刊「学就Book」の夢ノートを使って作成します。

この授業は教室内で完結するものではなく、日常の中で応用し活用していくことで初めて血となり肉となっていくものであり、授業に参加した学生みんなが充実した学生生活を送ることを祈っています。

この授業のもうひとつの特色として、nEQアセスメントや行動特性DISC理論など企業でも取り入れられているツールや理論を取り入れていること。社会で通用するものを実践的に学ぶ目的があります。

【授業で使用したテキスト・ツール】

日経ナビ編集部『学就Book』

日経ナビ編集部・日経HR発行。大学1、2年生が充実した学生生活を送り、社会に役立つ人材に育つための参考書。

労務行政研究所『nEQアセスメント』

労務行政研究所が開発した日本人の特性にあったEQ判定アセスメント。260問の質問にマークシートに回答し(所要時間約30分)コンピュータ処理により50のEQ能力結果が出力。大きく「自己対応能力」「他者対応能力」「社会性」「精神性」の4つの能力群の傾向を知ることができる。判定結果をもとに、自己理解から就職時の自己PRへの活用ができる。

HRD「DISC理論」

人間にはそれぞれ行動特性があり、DISCモデルは、その人の行動を測定し、人を否定的に判断しない4つの行動特性をもって、行動の特性をさぐる共通言語とすることで、自分のパターンを理解し、自己と他者との関係を認識することでコミュニケーションをスムーズにすることができる。

千葉大学亥鼻キャンパス学生相談室

千葉大学亥鼻キャンパスの学生相談室に毎週1回、キャリアカウンセラーを派遣しています。同キャンパスは、文系が主体の西千葉キャンパスに比べ、医学部、看護学部、薬学部と医学系学部が設置されており、進路・キャリア相談は少ないとみられていましたが、昨今の価値観の多様化、企業など進路の多様化を受けて、一昨年より進路・就職・キャリア相談を受け付けました。まだ学生の認知度が低く、相談件数は多くはありませんが、高度な専門知識を身に付けた学生の進路選択、就職活動の悩み相談機能として活躍しています。

Message from CSN Member

第4回 関本喜茂

● CSNとの出会い

会社生活を終了後、産業カウンセラーの養成講座を受講しました。もともとカウンセラーになりたいとか考えていたわけではなく、個人的な関心で、心の整理の仕方を学ば



うという動機でしたが、それを契機にもっと学んだことを活用できないかと、産業カウンセラー協会のキャリアコンサルタントの資格を取り再就職支援の仕事を始めました。そんな時に講座で一緒にいた方からCSNを紹介され入会しました。今は高校生のキャリア支援、進路相談を担当しています。

● 若者とキャリア教育について

高校のキャリア教育の現場は難問山積みという印象を受けています。中にはその学校独自の課題もあるが、社会全体の問題が反映している状況もあり、今の高校生、若者が直面する困難を解決していくためにも、キャリア教育の問題は学校だけではなく、地域のサポート資源を総動員して取り組む必要があると感じています。

● 今後の活動について

自己肯定感を喪失した高校生、若者の意欲を向上し、キャリアの必要性や在り方を理解してもらうことは容易ではありません。現場の先生方も苦勞されています。そんな中で、自分の職業体験から仕事の喜びやつらさ、達成感を伝え、若者が何かを感じてほしい、そんな望みを持っています。今目の前にいる若者ひとりひとりこそが私たちみんなの希望の星なのだから。

《CSN イチオシ》

『数字で突く労働問題の常識 雇用の常識「本当に見えるウソ』 海老原嗣生著・ブリジテント社

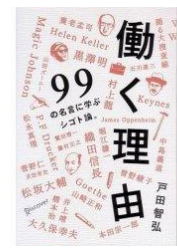
リクルートワークス研究所「Works」編集長などを歴任した著者はひたすら統計データから、巷で言われる「雇用」に関する諸々の世相、社会状況を切ってみせる。いわゆる



就職の7・5・3といわれる若者の離職率は数十年前から傾向、終身雇用は崩壊していない等々、データの一部を切り取っただけの分析や感情論による社会動向の分析が如何に誤った見方をさせるか、就職やキャリアに関わる者として自戒させられる一冊である。(記 大島)

『働く理由』99の名言に学ぶシゴト論 戸田智弘著・ディスカヴァー・トゥエンティワン

仕事について、就職、転職を含め仕事観について語ってくれる。著者自信の経験を踏まえて、古今東西の著名人の言葉99を入れながら解説してくれる。誰でも、



どこからでも飽きずに読める。要はその人の人生観そのものであり、まずは興味があれば行動を起すことである。(記 大平)

■編集後記

この号が発行される頃には衆議院選挙の結果がでているでしょうね。現在、ある市役所のお手伝いに行っているのですが、政権交代が起きた場合に備えていろいろと準備しているようです。高校事業やキャリア教育に影響がなければいいのですが。

キャリアサポートネットワークの活動にご協力を

CSNでは、ここに掲載した活動以外にも、千葉県内を中心に活動を行い、また千葉県とNPOの協働事業へ提案するなど積極的に活動を広げていきます。活動に直接お手伝いいただける方だけでなく、事務処理など皆様のできることからご協力いただける方を募集しています。この『CSNだより』をお読みになって、興味を持たれた方、ぜひご一報ください。

■事務局 千葉県船橋市緑台1-3-1-304 TEL 047-440-1790/FAX 020-4662-2067
MAIL info@cs-network.jp ホームページ <http://www.cs-network.jp>

